

特別企画：国内菓子メーカー486社の経営実態調査

増収企業比率、近畿がトップ ～京都や大阪のインバウンド需要で好調維持～

はじめに

2月14日のバレンタインデーを前に、チョコレート商戦が本格化している。欧米では男性から女性に花やギフトを贈る日とされているが、日本ではいつからか女性が男性に愛を告白する日と位置付けられ、チョコレートを贈る習慣が根付いている。バレンタインは、1年で最もチョコレートが売れることから、菓子メーカーや百貨店はバレンタインデーを商機と捉え、売り上げの積み上げに注力している。

帝国データバンクは、2018年1月末時点の企業概要データベース「COSMOS 2」（147万社収録）の中から、2016年度（2016年4月～2017年3月期）決算の年売上高が判明した国内菓子メーカー486社（年売上高10億円以上）を抽出し、売上状況、損益状況、地域別、業歴別について分析した。

※同様の調査は2017年2月に続き6回目。

調査結果(要旨)

1. 2016年度に「増収」となった企業は260社（構成比54.9%）。インバウンド需要やネット通販で販売が好調に推移した
2. 2016年度は「黒字」企業の割合は83.0%となり、全体の8割超を占めた。一方、「赤字」企業は17.0%となり、前年度比2.5ポイントの増加となった
3. 増収企業の割合をみると「近畿」（59社、構成比65.6%）がトップ
4. 業歴別では「50～100年未満」が221社（構成比45.5%）で最多。老舗企業が6割占めた

【地域別売上高 トップ企業】

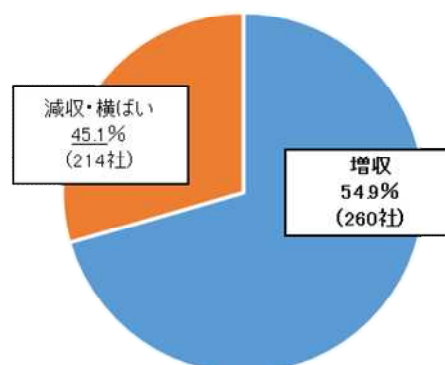
	TDB 企業コード	商号	所在地	2016年度 売上高 (百万円)	主なブランド・製品
北海道	030003362	六花亭製菓(株)	北海道	14,400	マルセイバターサンド、ストロベリーチョコ
東北	160003151	(株)でん六	山形県	22,769	でん六豆、ポリッピー
関東	985814507	(株)明治	東京都	752,391	ミルクチョコレート、カール、キシリッシュ
北陸	360003441	(株)ブルボン	新潟県	109,676	ルマンド、エリーゼ、アルフォート
中部	968364052	(株)シャトレゼ	山梨県	47,542	シャトレゼ
近畿	580020051	江崎グリコ(株)	大阪府	264,735	ポッキー、ビスコ、ブリッツ
中国	610011819	カバヤ食品(株)	岡山県	27,078	カバヤ、ゴールドチョコレート、ジュールC
四国	740096604	(株)あわしま堂	愛媛県	12,519	どら焼、カステラ
九州	810159303	(株)森田あられ	福岡県	10,484	もち吉、餅のおまつり

1. 売上状況 ～インバウンドやネット通販で販売好調

国内菓子メーカー486社のうち、2015年度、2016年度決算の年売上高が判明した474社の動向を比較すると、2016年度に「増収」となった企業は260社（構成比54.9%）となり、増収企業の割合が半数以上を占めている。

ここ数年は訪日外国人観光客の増加に伴い、地方においてもインバウンドの恩恵を受け、土産菓子の販売が好調に推移している。増収企業のなかには、店舗販売に加えネット通販のシェアが高まり、売り上げを伸ばしている企業も見受けられた。

2016年度の売上状況



※ 集計対象は、2015年度及び2016年度の売上高が判明した474社

2. 損益状況 ～原材料や人件費の上昇で赤字企業が増加

2015年度および2016年度決算の損益状況をみると、2016年度が「黒字」だった企業の割合は83.0%となり、全体の8割超を占めた。そのうち、「2期連続黒字」となった企業は75.1%となった。年売上高10億円以上においては、安定した経営基盤を有している企業が多く、黒字企業の割合が高かった。

一方、「赤字」企業は17.0%となっており、前年度比で2.5ポイント増加している。そのうち「2期連続赤字」は6.7%となった。

赤字企業には、原材料高や不採算店舗のスクラップアンドビルドで赤字を余儀なくされている業者が散見された。人手不足による人件費の上昇や結婚式向け贈答商品の減少のほか、さらに大手向けのPB商品案件を受注したものの、利幅が少ないうえに残業代負担などで製造原価が上がり、収益を圧迫するケースもあった。

損益状況

	2015年度	2016年度
	構成比 (%)	構成比 (%)
黒字	85.5	83.0
赤字	14.5	17.0
合計	100.0	100.0

3. 地域別 ～増収企業の割合、近畿がトップ

地域別でみると、「関東」が159社（構成比32.7%）で最多となった。次いで、「中部」（92社、同18.9%）、「近畿」（91社、同18.7%）と続いた。

2015年度および2016年度の年売上高が判明した474社を地域別にみると、増収企業の割合が最も高かったのは「近畿」（59社、構成比65.6%）で、世界中から観光客が集まる京都や大阪などの観光需要がけん引している。加えて、大手向けのOEMを手がける企業が多くみられた。

次いで「北陸」（18社、構成比64.3%）は、北陸新幹線の開業時と比べるとインバウンド特需が落ち着いてきているが、引き続き金沢を中心に多くの観光客が訪れており、土産菓子の販売が売り上げに寄与した。

地域別	社数	
	社数	構成比 (%)
北海道	25	5.1
東北	20	4.1
関東	159	32.7
北陸	29	6.0
中部	92	18.9
近畿	91	18.7
中国	14	2.9
四国	14	2.9
九州	42	8.6
合計	486	100.0

2016年度の地域別増収・減収比較

(社)

地域別	増収		減収		横ばい		合計
	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)	
北海道	11	44.0	11	44.0	3	12.0	25
東北	7	35.0	11	55.0	2	10.0	20
関東	79	52.0	56	36.8	17	11.2	152
北陸	18	64.3	10	35.7		0.0	28
中部	50	54.9	32	35.2	9	9.9	91
近畿	59	65.6	22	24.4	9	10.0	90
中国	7	50.0	6	42.9	1	7.1	14
四国	4	28.6	10	71.4		0.0	14
九州	25	62.5	14	35.0	1	2.5	40
合計	260	54.9	172	36.3	42	8.9	474

4. 業歴別 ～50年以上の老舗企業が6割占める

業歴別でみると、「50～100年未満」が221社（構成比45.5%）で最多となり、次いで「30～50年未満」が99社（同20.4%）となった。業歴50年以上が全体の6割強を占めており、老舗企業が多い特徴がある。

2015年度および2016年度決算の年売上高が判明した474社を業歴別でみると、増収企業では「30～50年未満」が56社（構成比60.9%）となり、増収比率が一番高かった。また「100年以上」の長寿企業は、増収企業が54.8%となっており、業歴に裏打ちされた企業ブランドを確立し、安定した経営基盤を築いている企業が多くみられた。

業歴別	社数	構成比
		(%)
10年未満	14	2.9
10～30年未満	68	14.0
30～50年未満	99	20.4
50～100年未満	221	45.5
100年以上	84	17.3
合計	486	100.0

業歴別業績比較

(社)

業歴別	増収		減収		横ばい		合計
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)	
10年未満	7	58.3	3	25.0	2	16.7	12
10～30年未満	30	44.8	29	43.3	8	11.9	67
30～50年未満	56	60.9	23	25.0	13	14.1	92
50～100年未満	121	55.3	88	40.2	10	4.6	219
100年以上	46	54.8	29	34.5	9	10.7	84
合計	260	54.9	172	36.3	42	8.9	474

【地域別売上高上位3社】

	TDB 企業コード	商号	所在地	2016年度 売上高 (百万円)	主なブランド・製品
北海道	030003362	六花亭製菓(株)	北海道	14,400	マルセイバターサンド、ストロベリーチョコ
	010013693	石屋製菓(株)	北海道	12,431	白い恋人
	090100751	(株)ケイセイシイ	北海道	10,376	LeTAO(ルタオ)、ドゥーブルフロマージュ
東北	160003151	(株)でん六	山形県	22,769	でん六豆、ポリッピ
	100424188	(株)菓匠三全	宮城県	8,310	萩の月
	120064948	(株)ラグノオささき	青森県	4,629	いのち、気になるリンゴ
関東	985814507	(株)明治	東京都	752,391	ミルクチョコレート、カール、キシリッシュ
	600009030	カルビー(株)	東京都	191,030	ポテトチップス、じゃがりこ、かっぱえびせん
	985821600	森永製菓(株)	東京都	173,069	森永ビスケット、チョコボール、ハイチュウ
北陸	360003441	(株)ブルボン	新潟県	109,676	ルマンド、エリーゼ、アルフォート
	340100241	亀田製菓(株)	新潟県	73,821	亀田の柿の種、ぼたぼた焼、ハッピーターン
	340342073	(株)三幸	新潟県	49,551	雪の宿、ぱりんこ、チーズアーモンド
中部	968364052	(株)シャトレーゼ	山梨県	47,542	シャトレーゼ
	671001004	井村屋(株)	三重県	33,974	あずきパー、ようかん
	395012284	(株)おやつカンパニー	三重県	18,048	ベビースター、ブタメン
近畿	580020051	江崎グリコ(株)	大阪府	264,735	ポッキー、ビスコ、プリッツ
	530104331	(株)ユーハイム	兵庫県	30,500	ユーハイム、バウムクーヘン
	530038405	モロゾフ(株)	兵庫県	29,167	モロゾフ、モロゾフグラン
中国	610011819	カバヤ食品(株)	岡山県	27,078	カバヤ、ゴールドチョコレート、ジューC
	690181381	壽製菓(株)	鳥取県	9,441	因幡の白うさぎ
	610120681	(株)源吉兆庵	岡山県	7,986	宗家 源 吉兆庵
四国	740096604	(株)あわしま堂	愛媛県	12,519	どら焼、カステラ
	740086582	ルナ物産(株)	愛媛県	4,794	OEM商品(チルドデザートなど)
	740044902	(株)ハタダ	愛媛県	3,898	ハタダ栗タルト、御栗タルト
九州	810159303	(株)森田あられ	福岡県	10,484	もち吉、餅のおまつり
	800320128	(株)さかえ屋	福岡県	5,969	さかえ屋、なんばん往来
	800135587	(株)明月堂	福岡県	5,965	博多通りもん

※1 一部推計値を含む

※2 (株)おやつカンパニーは2014年8月1日に(株)OCホールディングスに吸収合併され、同社は商号を(株)おやつカンパニーに変更し事業を引き継いでいる

5. まとめ

国内菓子メーカー486社のうち、2015年度、2016年度決算の年売上高が判明した474社の動向を比較すると、2016年度に「増収」となった企業は260社（構成比54.9%）となり、増収企業が半数以上を占めた。近年は訪日外国人観光客の増加で、地方においても土産菓子の販売が好調に推移しており、インバウンドの恩恵を受けた企業が多く見受けられた。

2016年度決算の損益状況をみると、2016年度は「黒字」企業の割合は83.0%となった。一方、「赤字」企業の割合は17.0%となっており、前年度比2.5ポイント増加している。近時は円高基調で原材料コストを抑えられた企業が多かったが、原料米やサラダ油、包装資材が上昇したことで影響を受けた菓子メーカーもあった。

近年、会社の上司や同僚への「義理チョコ」需要が減退する一方で、女性自身が自分用に高級チョコレートを購入する人が増加している。「3000～5000円」の高級チョコレートが売れ筋で、百貨店や菓子メーカー各社は「オシャレ」「限定品」「インスタ映え」をキーワードに新製品や希少性の高いチョコレートで勝負を賭ける。ここ数年のトレンドとして、ネット通販で販売シェアを伸ばし売り上げに寄与した先もあったが、人件費の上昇や結婚式向け贈答商品の減少、さらには大手向けのPB商品案件を受注したものの、想定よりも製造原価が上がり、収益を圧迫するケースも散見される。

現在、コンビニスイーツの台頭で顧客を奪われた菓子メーカーが増えており、今後もコンビニとの競合が予想される。さらに若年層の和菓子離れや菓子の職人不足の問題も抱えており、老舗企業の割合が多い菓子メーカーも安泰とは言えない時代に差し掛かっている。時代の変化にどう対応していくのか、菓子メーカーを取り巻く環境は甘くはなさそうだ。

【内容に関する問い合わせ先】(株)帝国データバンク 東京支社情報部 担当：田中 祐実
TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。